

◆日本共産党の見解を紹介します。

http://toride.jcpweb.net

メール jcp.toride@blue.ocn.ne.jp

◆ご意見、ご要望をお寄せください。

明るい取手

2012年6月24日(日)

発行:日本共産党取手市委員会

取手市井野3-19-6 TEL.72-7816

生活のお困りごとなどお気軽にご相談を

- 高木晶市委員長/TEL:74-2004
- 加増みつ子市議/TEL:74-8154
- 遠山ちえ子市議/TEL:83-8290
- 鈴木きよし市議/TEL:74-8160
- 関戸 勇市議/TEL:78-0500

「取手駅西口開発」を考える

シリーズ

⑤



「ウェルネスプラザ」整備計画 (案)

繰り返した駅前開発の失敗。これらの反省もなく、市民不在で進む「ウェルネス・タウン取手市の創造」構想。そして公有地売却への消えない疑惑…。市民の圧倒的な願いは「旧東急ビル」の再開。改めて取手駅西口開発について考えてみましょう。ご意見をお聞かせください。

シリーズ①～④はホームページに掲載しています。

またしても

突然浮上!!



野々井・藤代保健センターを取手駅前に統合

6月定例会市議会(21日閉会)中に、「(仮称)ウェルネスプラザ整備計画(案)」が市議会議員等に示されました。計画案に示された中には、これまで触れられてなかった市内2カ所(野々井、藤代)の保健センターを、建設予定の「ウェルネスプラザ」内に集中、すべての保健センター職員を移転配置する計画が突然浮上し、市民の中に「どうして…、不便になるのでは」と疑問の声があがっています。

「ウェルネス・タウン取手市の創造」構想

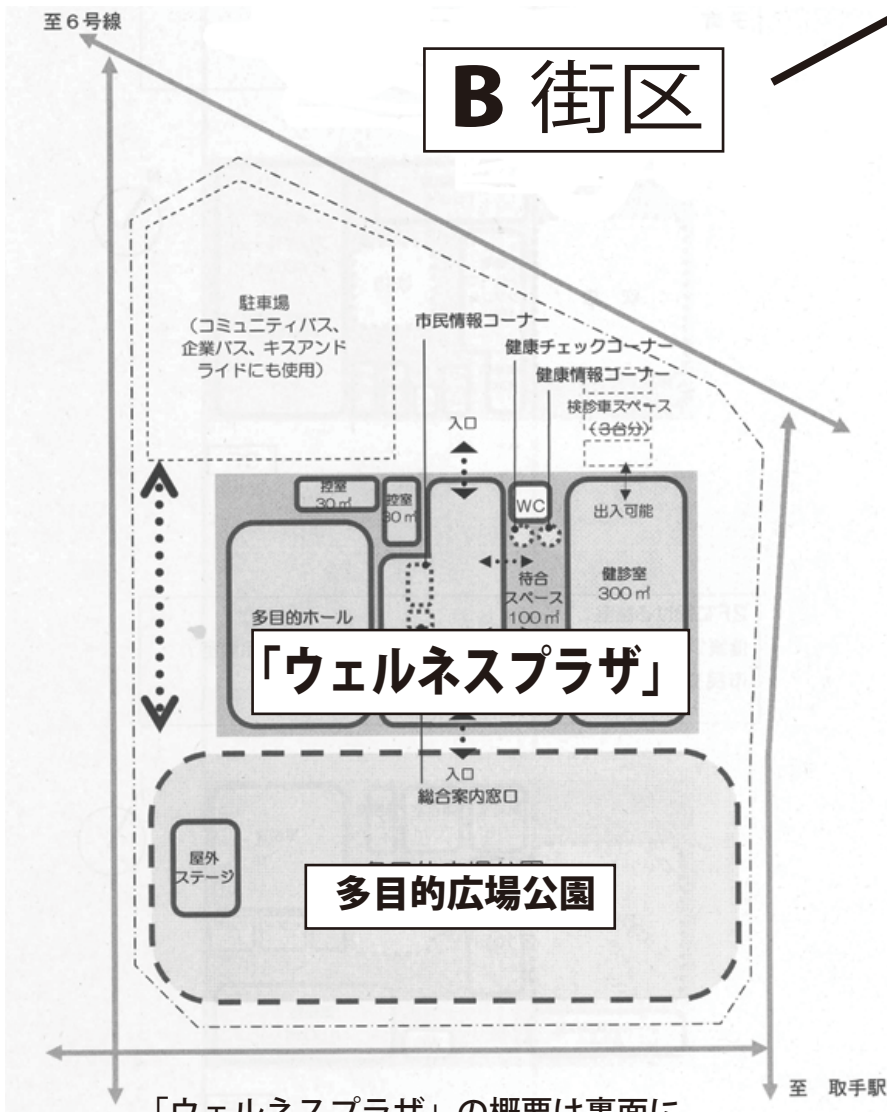
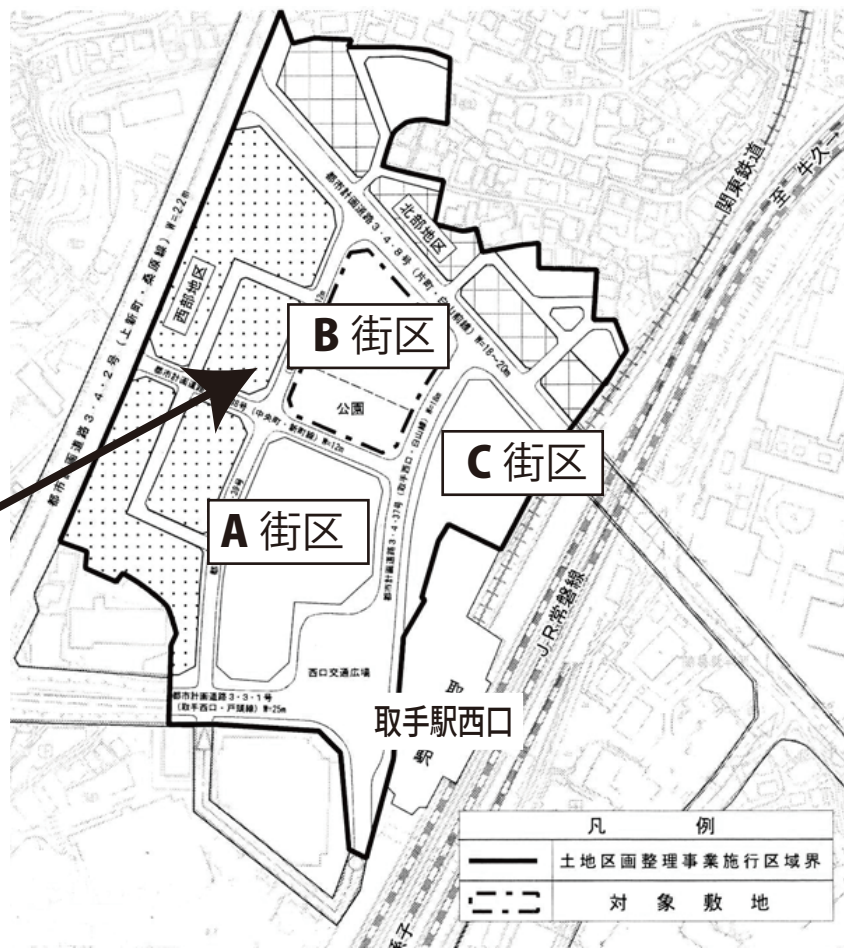
「ウェルネスプラザ」整備計画(案)公表

取手市が平成23年度予算(仮称:ウェルネスプラザ整備計画策定委託料735万円)で外部に委託発注していた同計画策定調査業務報告書が公表されました。

報告書は、面積5400㎡の区画整理事業区域内のB街区に、概算建設事業費は12億円(仮称)で、ウェルネスプラザ(3階建延べ床

面積約3,500㎡)と、1800㎡の多目的広場公園を整備するとしています。施設オープンは平成27年1月予定。用地は、すでに約5億円で茨城県から購入済み(2005年12月)。

報告書が示す計画概要を見てみましょう。



「ウェルネスプラザ」の概要は裏面に

野々井保健センター(医師会病院隣接)・藤代保健センター(藤代庁舎敷地内)の全職員を取手駅前の「プラザ」に集中してどうするの…

公共施設の在り方をまとめた「取手市公共施設マネジメント白書」(平成23年5月)は、「保健センター(野々井)、藤代保健センターともに新耐震基準は満たしているが、築20年を超えており、他の施設の改修や建替えに合わせて共用や複合化等、計画の立案が必要」と将来の課題としていました。

ところが突然計画(案)に「保健センター機能を新たに導入する」とし野々井、藤代両保健センターを一体化する「新保健センター」としての機能に進める条件として、職員数30～35人程度の事務室スペースが必要とし、計画(案)には事務室面積をそれに応じたものを織り込んでいます。

裏面につづく

一人で悩まずに お電話を

弁護士無料法律相談

電話72-7816

生活相談・労働相談

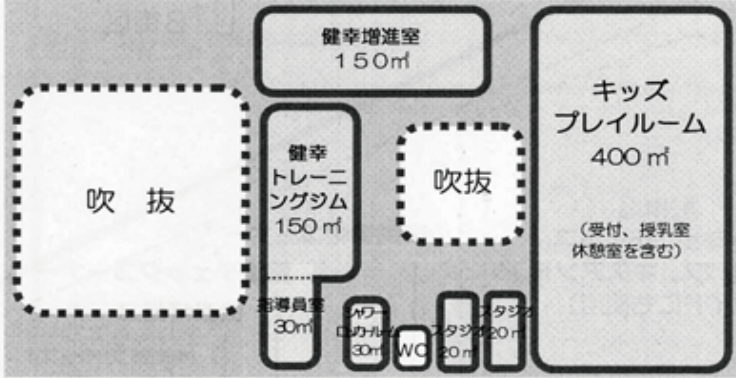
電話72-7816

月間の利用者を 24,550 人（820 人／日平均） 駐車場は 21 台

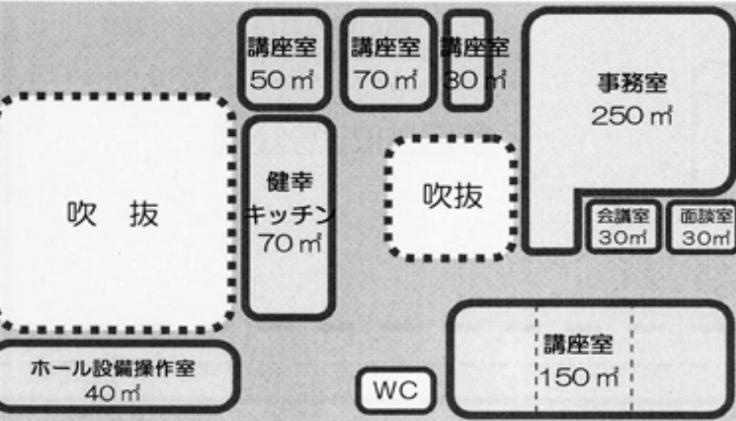
計画（案）では、「プラザ」の利用者を月間で 24,550 人（820 人／日平均）見込んでいます。一方、駐車場は 21 台で、明らかに不足するため周辺の時間貸し駐車場へ誘導する（駐車料金は市で負担することを検討する）としています。

尚、利用者想定人数の中には、我孫子・柏市など市外からの利用者も含んでいます。

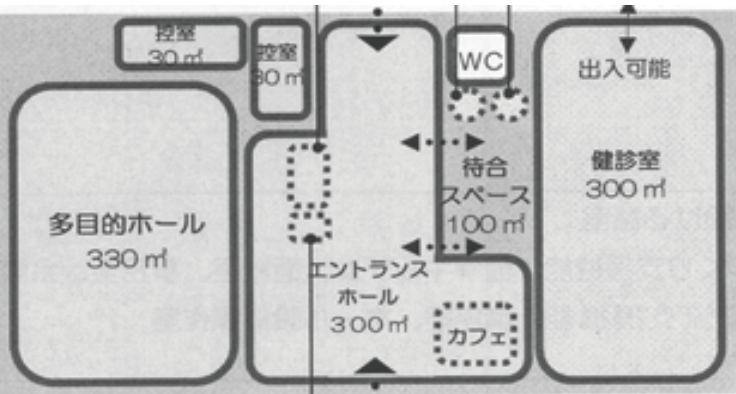
ウェルネスプラザの概要図



3階



2階



1階

健康・子育て・交流の場…

ウェルネスプラザ整備の目的について、報告書は「市民の健康づくりを支援し、生きがいづくりや社会活動の場となる『健幸づくり交流拠点』を目指す」とし、○健康づくり、○子育て、○市民交流の各種支援を行うための機能を持つ施設を整備するとしています。

健康づくり支援機能として保健センター機能、トレーニングジム、シャワー、ロッカー室等、グリーンスポーツセンターの一部機能も持たせ、市民交流支援機能に 330 名程度収容の多目的ホール。子どもの遊び場「キッズプレイルーム」等の配置計画になっています。

商業施設計画はゼロ…それでも人が集まる？

ウェルネスプラザの想定利用者数

諸室	利用者数／回	想定最大回数／日	月間利用者数	備考
保健センター事業	—	—	640人	保健センター実績より
面談室	3人	4回	210人	
健幸トレーニングジム	20人	7回	2,520人	
健幸増進室	20人	1回	360人	保健センター実績より
健幸キッチン	20人	1回	360人	
キッズプレイルーム	160人	—	12,000人	
多目的ホール	330人	1回	5,940人	
講座室	130人	1回	2,340人	
スタジオ	10人	1回	180人	
合計			24,550人	
年間利用者数想定			294,600人	月間利用者数×12

*月間利用者数は、利用者数／回 × 想定最大回数／日 × 30 日 × 月ごとの想定利用率（60%）で算定（保健センター事業とキッズプレイルーム）

「長期計画」無視で市政運営を形骸化

グリーンスポーツセンターや医師会病院・緑寿荘・保険センターなど医療・介護施設の立地する西部地域はどうなるの

取手市は、総合的かつ計画的な行政の運営を図るための「基本構想」（2007 年から 2016 年までの 10 年間）を議会の議決を経て定めています。「すべての事務は、『基本構想』に即したものでなければならない」として「基本構想」が行政運営の「最上位計画」であることを法律が規定しています。

その市の「基本構想」は、「取手駅周辺を、商業・文化・芸術ゾーン」、「グリーンスポーツセンターや医療・介護施設の立地する西部地域を健康・スポーツゾーン」と位置付けています。保健センターの駅前への移転統合は、西部地域（グリスポ周辺）の位置づけも、なし崩し的に変更するもので、違法に違法を重ねる計画です。

6 月定例市議会

意見書可決

日本共産党市議が提案した 3 件の「国に提出する意見書」が 6 月定例市議会最終日（21 日）に採決され、賛成多数でいずれも可決しました。

- 大飯原発再稼働方針を撤回し、「原発ゼロの日本」をめざすことを求める意見書
- 電気料金の値上げに反対する意見書
- 障害者総合福祉法（仮称）の制定を求める意見書

消費税増税し、社会保障大改悪

密室談合

民主・自民・公明は
議会制民主主義をこわす暴挙やめよ

大飯原発再稼働は撤回を

政治革新の道しるべ、
真実つたえ希望はこぼ

しんぶん 赤旗

日刊 ● 月 3,400 円
日曜版 ● 月 800 円

お申込みは
日本共産党取手市委員会まで
電話 72-7816
「明るい取手」を
折り込みします。